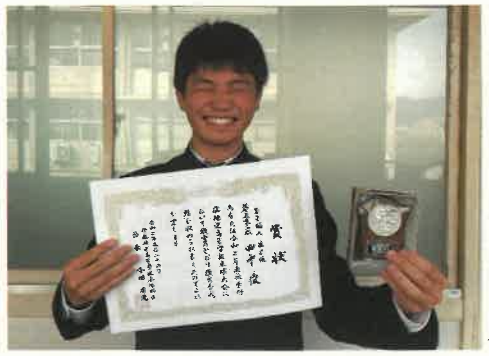
佐農高だより

第６号　　令和２年 10 月 30 日発行
佐賀県立佐賀農業高等学校　学校長　久富　光祐
佐賀県杵島郡白石町大字福田 1660
TEL0952-84-2611　FAX0952-71-5009
学校HP http://www.education.saga.jp/hp/saganougyoukoukou/

チャレンジ！佐農生～夢を実現するために～

部活動　躍進中！！！



■9 月 26 日（土）に、卓球の杵藤地区大会が行われました。この大会で、環境工学科２年の田中俊くんが、地区３位に輝きました。３勝して迎えた準決勝では、武雄高校の選手に惜しくも敗れてしまいましたが、声を出し懸命にプレーする姿が見られました。団体戦も武雄高校と鹿島高校に敗れましたが、環境工学科２年小野千怜くんや１年生ペアが勝利を収めるなど、あと一歩のところでした。

環境工学科２年　田中俊くん（大町ひじり学園出身）

今回の大会は、文化祭や体育祭の準備期間と重なり、練習時間が非常に限られていました。しかし、練習に手を抜きたくないと思い、学校の部活だけでなく、居残り練習をしたり、地元の社会人チームの練習に参加させていただいたりと、自分なりに工夫しました。今回の結果は嬉しい部分もありますが、準決勝で負けてしまったことは非常に悔しかったので、今の結果に満足するのではなく、もっと上を目指して日々の練習を頑張っていきたいと思います。

■同じく９月 26 日（土）に、ソフトテニスの嬉野みゆき公園にて杵藤地区大会が行われました。この大会の団体で、女子ソフトテニス部が第３位に輝きました。この日は風が非常に強く、苦戦していました。３位決定戦で鹿島高校と対戦。１番手の１年生ペアが勝利を収め、続く２番手は惜しくも敗れてしまいましたが、３番手が見事勝利を収め、３位入賞を決めました。個人戦でもベスト８に入るペアもおり、今後の更なる活躍に期待がかかります。

食品科学科２年　喜多ひかりさん（鹿島西部中出身）

２年生主体の新チームになって初めての公式戦で、とても緊張した状態で試合に臨みました。私は３番手で、１勝１敗で試合順が回って来たので、３番手勝負で絶対勝つという思いで戦いました。自分から声を出したり、ペアと作戦を立てたりし、なんとか勝つことができ、２対１で団体３位に入賞しました。次の試合でも入賞できるよう、仲間と力を合わせて日々の練習に全力で励んでいきたいと思います。

佐賀さいこう企画甲子園　二次予選　in 佐賀県庁

10 月 17 日（土）、佐賀県庁にて「佐賀さいこう！企画甲子園」の二次予選が行われました。「佐賀さいこう！企画甲子園」とは、県内外の高校生が佐賀の魅力を新たに発見・再認識する機会として、佐賀の魅力を語り、その魅力を活かした企画で競い合う取り組みで、今年で第４回目を迎えています。一次予選は書類選考が行われ、全 65 チームの応募があり、20 チームが二次予選に進むことができます。本校からは3チームが二次予選に進出しました。

二次予選では、審査員を前に企画の３分~5 分のプレゼンテーションを行い、５分間審査員から質疑応答を受けます。この日のために、放課後遅くまで学校に残り企画を練り直し、プレゼンテーションの練習を重ねました。当日は、他の学校のプレゼンテーションに圧倒されながらも、自分たちの練習の成果を十二分に発揮し、堂々としたプレゼンテーションをしてくれました。二次予選で発表した、各チームの企画内容は以下の通りです。それぞれの個性溢れる企画で、審査員の方も積極的に質問されていました。

農業科学科２年　チーム「オニオンズ」

佐賀の魅力はなんといっても「白石たまねぎ」です。ほどよい甘みと柔らかな食感を持つ玉ねぎは、全国第２位の生産量を誇っています。しかし今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校給食の中止が起きるなど、多くの玉ねぎが廃棄処分されました。私たちはこの状況をなんとかしたいと思い、「冷凍たまねぎ」を発案しました。玉ねぎのデメリットである、調理の手間を削減でき、しかも規格外や廃棄予定の玉ねぎを使うことで農家さんたちを救うことができると考えています。

環境工学科２年　チーム「SANOE-2」

私たちが考える佐賀の魅力は「田んぼ・クリーク」です。田んぼ・クリークは佐賀の美味しいお米を生み出すだけでなく、大雨の時には水を受け止める防災の役割や、絶滅危惧種を含む多様な生物の棲みかとしての役割も果たしています。私たちは子どもから大人にまで、この田んぼ・クリークの果たす役割や魅力を知ってもらい、環境に配慮した新たな米作りを目指す農家を増やすことで、佐賀の魅力を全国に発信していくことを提案します。

環境工学科２年　チーム「白石平野」

私たちが伝えたい佐賀の魅力は「成富兵庫茂安」です。佐賀は昔から水害と干ばつに悩まされてきました。しかし戦国時代から江戸時代にかけて活躍した成富兵庫は佐賀のいたるところで治水・利水事業を行い、その問題を解決したのです。しかも、そのアイデアは自然の力に逆らわず、自然の力を上手く利用したものであり、現代でも大いに参考になります。私たちは成富兵庫の川づくりを参考に、安全で、環境に配慮した、人が集まる川づくりを提案します。

二次予選の結果は 20 日（火）に発表され、20 チーム中８チームが出場できる本選に、農業科学科２年の「オニオンズ」が選ばれました。本選出場チームは、11 月７日（土）、８日（日）に行われる波戸岬少年自然の家でのワークショップ合宿に参加し、アドバイザーによる基礎学習やグループワークを行い、自らの企画を磨き上げます。その後、12 月 13 日（日）の本選において、県知事山口氏をはじめとする審査員の前で最終プレゼンテーションをすることになります。

１１月の行事予定

２日（月）３年学年登山
６日（金）服装頭髪指導、第２回漢字検定
　　　　　佐賀県文芸コンクール
９日（月）A科九州農政局出前授業
１０日（火）２年保護者会（修学旅行関係）
１１日（水）A２動物ふれあい（六角小）
１２日（木）成績不振者保護者会
１３日（金）SGH中間発表会
　　　　　計算力テスト
　　　　　第１回日本語検定
１５日（日）２級造園施工管理試験
１７日（火）杵島・武雄地区合同読書会
１８日（水）A２動物ふれあい（福富小）
２０日（金）１、２年生コース選択説明会
　　　　　GPS-academic
２２日（日）危険物取扱者試験
　　　　　測量士補試験
２５日（水）A２動物ふれあい（有明東小）
２７日（金）２学期期末考査（～１２月２日）